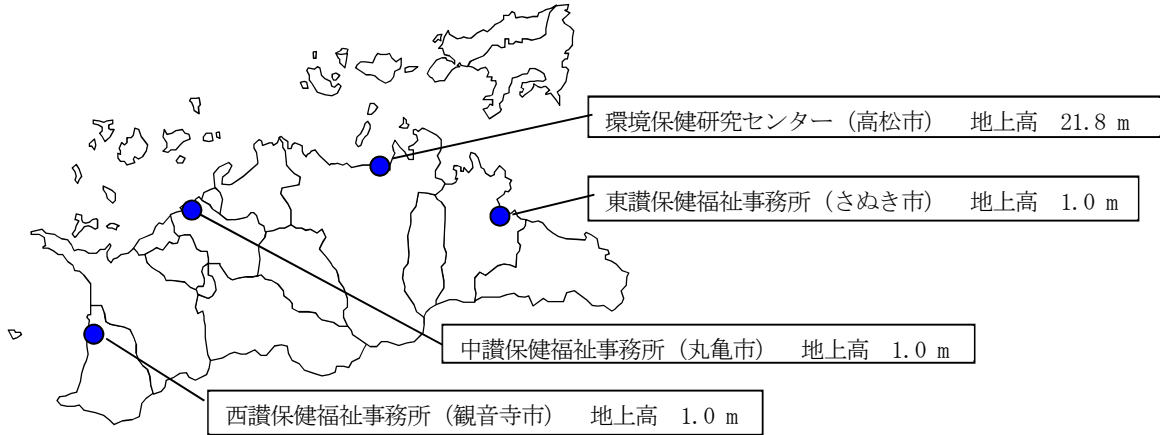


令和5年度 放射線量等測定結果（4～12月）

1 大気中の放射線量

①モニタリングポストによる常時監視

大気中の放射線量は、県内4箇所のモニタリングポストで常時監視しています。



区分	放射線量 (マイクロシーベルト/時)											
	環境保健研究センター (高松市)			東讃保健福祉事務所 (さぬき市)			中讃保健福祉事務所 (丸亀市)			西讃保健福祉事務所 (観音寺市)		
	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大
4月	0.050	0.048	0.059	0.074	0.071	0.088	0.054	0.052	0.075	0.053	0.051	0.073
5月	0.050	0.047	0.064	0.075	0.072	0.092	0.055	0.051	0.074	0.053	0.050	0.071
6月	0.050	0.048	0.057	0.074	0.048	0.090	0.055	0.052	0.070	0.053	0.051	0.062
7月	0.050	0.048	0.064	0.076	0.073	0.089	0.055	0.052	0.079	0.054	0.051	0.071
8月	0.050	0.047	0.065	0.076	0.073	0.095	0.055	0.052	0.079	0.053	0.051	0.074
9月	0.050	0.048	0.058	0.075	0.072	0.084	0.055	0.052	0.073	0.053	0.049	0.063
10月	0.050	0.048	0.057	0.074	0.071	0.085	0.054	0.052	0.068	0.052	0.050	0.064
11月	0.051	0.048	0.080	0.074	0.071	0.107	0.055	0.052	0.093	0.052	0.050	0.093
12月	0.051	0.048	0.057	0.073	0.071	0.082	0.055	0.051	0.073	0.052	0.050	0.069
最小～最大※	0.047 ～ 0.132			0.069 ～ 0.107			0.051 ～ 0.100			0.035 ～ 0.094		

※「最小～最大」は環境保健研究センター分については平成12～令和5年度、他は平成24～令和5年度。

モニタリングポストのデータは、原子力規制委員会ホームページ（放射線モニタリング情報共有・公表システム）<https://www.irms.nsr.go.jp/nra-ramis-webg/> で公表しています。

②サーベイメータによる補足調査

モニタリングポストの測定値を補足するため、環境保健研究センターと小豆総合事務所で、サーベイメータを使用して空間放射線量を測定しています。

区分	放射線量 (地上高 1.0m) (マイクロシーベルト/時)	
	環境保健研究センター (高松市)	小豆総合事務所 (土庄町)
4月	0.057	0.061
5月	0.053	0.067
6月	0.057	0.065
7月	0.063	0.065
8月	0.057	0.063
9月	0.057	0.065
10月	0.063	0.069
11月	0.057	0.067
12月	0.050	0.065

2 大気浮遊じん

毎年、4月～6月、7月～9月、10月～12月、1月～3月のそれぞれ3箇月間の内、延べ6日間環境保健研究センター（高松市）で採取した大気浮遊じん（大気中に浮遊している塵）について、放射性物質を測定しています。（N.Dは「検出せず」）

(ベクレル/m³)

採取期間	セシウム-134	セシウム-137	ヨウ素-131
4月～6月	N.D	N.D	N.D
7月～9月	N.D	N.D	N.D
10月～12月	N.D	N.D	N.D

3 降下物

毎月、環境保健研究センター（高松市）で1箇月間に蓄積された降下物について、放射性物質を測定しています。

(メガベクレル/km²)

採取期間	セシウム-134	セシウム-137	ヨウ素-131
4月	N.D	N.D	N.D
5月	N.D	N.D	N.D
6月	N.D	N.D	N.D
7月	N.D	N.D	N.D
8月	N.D	N.D	N.D
9月	N.D	N.D	N.D
10月	N.D	N.D	N.D
11月	N.D	N.D	N.D
12月	N.D	N.D	N.D

4 上水（蛇口水）

毎年1回（6月）、環境保健研究センター（高松市）で蛇口から上水100リットルを採取して放射性物質を測定しています。

(ミリベクレル/ℓ)

区分	セシウム-134	セシウム-137	ヨウ素-131
上水（蛇口水）	N.D	N.D	N.D

5 土壌（未耕地）

毎年1回（梅雨明け頃）、坂出市内の未耕地で、上層（0～5cm）、下層（5～20cm）の土壌を採取し、放射性物質を測定しています。

(Bq/kg)

区分	セシウム-134	セシウム-137（最小～最大※）	ヨウ素-131
上層：0～5cm	N.D	2.2（2.1～16）	N.D
下層：5～20cm	N.D	1.0（N.D～3.2）	N.D

※「最小～最大」は平成18～令和5年度。

6 農・畜・水産物（精米、野菜、牛乳、魚類）

毎年1回（精米・野菜：収穫時期、牛乳：9月、魚類：漁期）、県内産の精米、大根、ホウレンソウ、牛乳、カレーについて、検出精度を高めた方法により、ごく微量の放射性物質を測定しています。

(Bq/ℓ)

区分	セシウム-134	セシウム-137	ヨウ素-131
精米	N.D	N.D	N.D
大根	N.D	N.D	N.D
ホウレンソウ	N.D	N.D	N.D
牛乳	N.D	N.D	N.D

(参考)

○測定結果

大気中の放射線量では、次のとおり測定値を放射線量に換算しています。

放射線量（マイクロシーベルト/時）＝空間放射線量率（ナノグレイ/時）÷1000×換算係数(1)

○ゲルマニウム半導体検出器による測定では、測定条件により検出限界（N.Dの値）が変動します。

○放射線の単位の意味

シーベルト（Sv）：放射線が人体に与える影響を表す単位

グレイ（Gy）：放射線から受けるエネルギー量を表す単位

ベクレル（Bq）：放射線を出す能力である放射能の強さを表す単位

マイクロ（μ）：100万分の1（ 10^{-6} ）

ナノ（n）：10億分の1（ 10^{-9} ）

メガ（M）：100万（ 10^6 ）